『特報』 2026 年 10 月 16 日

[HP] http://chokugen.com/
[FAX] 03-3956-1313　　[mail] info@chokugen.com
[X(旧 twitter)] t_masuda2019/　[instagram] t.masuda2026
[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.162「AI を総括する」のお知らせ

昨日（10 月 15 日）何故ニッケイは 3,300 円も下げたのか？
新興 AI 企業コアウィーブが高めの利息（9.625%）で発行（520 億ドル）した社債が売られ利回りが 15%を超え、株価も 20%以上下落しました。
ハイパースケーラー（アマゾン、インテル、メタなど）は年内 6,500 億ドルの AI インフラ投資を決めていますが、投資家にしてみれば、まだ見えぬ約束を買っているようなものですから終始漠然とした不安がありました。
そこへコアウィーブの社債がまるでジャンクボンド（信用度が低い社債）のように売られたのでパニック状態になり、ハイパースケーラーに飛び火し、日本も炎に包まれたわけです。
今後 AI が国家、社会のあらゆる分野に拡大、浸透して行くのは明らかですが、「生みの苦しみ」もあります。
勝負師ソフトバンクの孫正義氏は OpenAI に一点集中投資を決めています。
孫氏は 2016 年イギリスの半導体設計専門のアーム社を 3.3 兆円で買収、2026 年 6 月現在の時価総額は約 22 倍の約 4,700 億ドル（約 73 兆円）に跳ね上がっています。
OpenAI への投資は 646 億ドル（約 10 兆円）でアーム社の時価を裏付けにドル建て、ユーロ建て社債を平均金利 9.41%。で調達しています。
OpenAI がデータセンターを依存しているオラクルは今不可抗力のリスク（地元住民の反対、環境保護団からの訴訟等々）に直面しています。
データセンターの完成は大幅に遅れ、コストは増大の一途です。
今こそ将来の AI 産業の採算性、そして AI 社会の在り方を考える時だと思います。
IT 時代から AI 時代へ移行する過程は、ある意味では相場（市場）の価値観の変化の時であり、また儲けのチャンスでもあります。
AI 時代の教則本として是非ご購読下さい。

★小冊子 Vol.162 は先行受付開始！
お申し込みは https://www.musrjec.com/ より

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。